

高松市立栗林小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

よく学び よく遊び よく働く 子どもを育てる

「確かな学力の定着」「健やかな心身の育成」「心の豊かさの実践」

【本校の現状と課題】

- 「新体力テストの数値分析の結果」より、男子は20mシャトルラン、女子は反復横跳び、20mシャトルラン、50m走が県平均よりも下回っている学年が多い。
- 運動場では児童が楽しそうに体を動かす様子が見られるが、1000人以上の児童数に対して、運動場の面積は狭く、体を動かす児童数は少ない。
- 体育の授業でも、体育館を4年生以下は2クラスずつ、運動場では3クラス合同で行う学年もある。使用できる面積が狭く、活動が制限される。

【取組み】

遊ぶ場所の安全確保

- ・体育館や2階、3階テラスを開放して運動を行えるようにする。安全面の配慮として、教員が必ずつく、走らない、テラスでの運動を縄跳び、長縄のみとする。
- ・運動場等での遊ぶ場所が明確になるように、各クラスに「栗っ子運動場の使い方」を配布し、教室に掲示する。また、体力づくり委員会が鬼ごっこエリアとドッジボールエリアの境目にコーンを設置し、視覚支援を行う。

体育備品・クラス配当品の充実

- ・体育館や運動場だけではなく、屋上や中庭に鉄棒やジャンピングボードを置くなどし、体を動かせる環境を作る。
- ・業間休みと昼休みには、ボール倉庫を開放することで、運動場で児童が様々な運動に取り組めるようにする。
- ・柔らかいボール2つや長縄、マーカーコーンなどをクラスに配布し、いろいろな外遊びができるようにすることで、運動場に出て遊ぶ児童の割合を増加させる。

体力向上プロジェクト

- ・前年度の体力テストの課題を解決するために、「栗林ピック月間」を設ける。持久力向上を目的とし、11月に長縄跳び、2月にマラソン活動を行う。
- ・目標をもって取り組めるようにするために、長縄跳びやマラソンの記録を学年ごとに掲示する。
- ・教員が用具の準備をする時間等を活用し、縄跳びや鬼ごっこ等、体ほぐしをする時間を設定（5分程度）し、運動時間を確保する。
- ・児童が意欲的に運動に取り組めるよう、体力づくり委員会が運動のコツを教える時間を設ける。

【目標】

- 新体力テストの、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ、反復横跳びの記録が県平均以上の学年を増やす。
- 運動場や体育館で運動をする児童を増やす。
- 学校評価における児童アンケートの運動に関する肯定的な意見の割合を、90%以上にする。